

あと施工アンカー技術研修の実施について

発表者氏名：河内哲史 技術分野 ：環境安全 発表形式 ：口頭発表

所 属 ：名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ

共同発表者氏名：

小田哲史（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

舟橋 朋（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

木村麻衣（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

後藤光裕（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

齋藤 彰（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

長嶋宏弥（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

松浪有高（名古屋大学全学技術センター 環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

概要

名古屋大学工学研究科では、実験台や局所排気装置等が耐震固定されていない場合、今年度から安全衛生巡視の指摘として取り扱うように変更された。これに伴い、安全衛生巡視に関わっている技術職員が、実験台等の耐震固定一括発注・固定金具の指定・業者による施工時の立会いを行うこととなった。しかし、実験台や局所排気装置と類似するような大型設備機器については、過去の地震時に、あと施工アンカーの強度不足や埋込み不足が原因とされる機器の移動・転倒例が報告されている。これらのことから、今まで以上に、あと施工アンカーの適切な選定、施工不良の防止が求められる。そこで、我々はアンカー施工の知識・技術を習得するための研修を行った。具体的には、日本建設あと施工アンカー協会主催の講習会を受講し、それらの知識等を研修参加者で共有した。その後、コンクリートにアンカーを打込み、十分な強度が得られているかを確認した。これらの内容について報告する。